

受け入れること

西条市立小松中学校 2年 畑中 希心

僕は難聴だ。この障がいで、悲しい出来事もたくさんあった。それでも今、みんなは難聴の僕を受け入れてくれている。

僕は、生まれつき音が聞こえない。生まれてすぐは乳を全然飲まず、死にかけたらしい。ようやく乳を飲むようになった後、僕は耳が聞こえないのだと親は医者から聞かされた。母はショックで、とても悲しんだ。それでも、僕を幸せにしようと、一歳二か月の時に右耳、一歳六か月の時に左耳の手術をして、人工内耳というものを付けた。それで、音が聞こえるようになった。

とても不思議だった。なぜ、障がい者である僕を幸せにしようとしてくれるのか。でも、そのことを両親には聞けなかった。

そうして、僕は松山聾学校の幼稚部という難聴のための幼稚園に入学し、卒業後は地元の小学校に入学した。みんなと初めて出会った場所だ。

みんなは僕のことをとても不思議そうに見てきた。だけど、すぐに仲良くなった。けれど、友達と呼べるほど仲良しになれる人はいなかった。そして、何か月か過ぎると、一人、また一人と離れていき、僕はとうとう一人ぼっちになった。とても悲しかった。もっとみんなと話したい。けれど、話したら嫌われそうだという気持ちが強かった。だから、担任の先生と話したり、本を読んだりして過ごすことが多くなった。正直、寂しかった。ただ家では、オンラインゲームで楽しく過ごすことができた。僕の心の休けい所だった。

五年生になったある日、オンラインゲームのチャットで、「僕、実は難聴なんだ。」と思い切って言った。すると、「難聴は帰れ。」と心ない言葉を投げられた。その後も「障がい者は要らない。」「とっとと消えて！」など、残酷な言葉をいくつも投げられた。そして、ついには仲が良いと思っていた人からも悲しい言葉を投げられ、いじめられた。とても辛くて、悔しかった。大切な人に裏切られ、たまらなかった。障がい者として生まれたことを僕は憎んだ。

最悪の気持ちしがしばらく続いた。でも、ネットでいじめられたことや難聴という障がいについて、みんなに知ってもらいたい、だまっではいけないという気持ちの方が強くなっていった。それで勇気を出して、別のオンラインゲームで、再び「難聴だ。」と打ち明けた。すると、仲の良い人たちから、「どうして早く言ってくれなかったの。」とどぐさめられた。こんな自分を受け入れてくれる人がいると思ううれしかった。救われた思いがした。そして、もっと多くの人に難聴のことを知ってほしいと思うようになった。だから、小学校でも勇気を出してみんなと話すようにした。すると、そのうち友達と思える人ができ始めた。毎日の学校が楽しくなった。

僕は、小学校を卒業し、中学校に入学した。そして、他の小学校の生徒とも一緒になった。少年自然の家や体育大会などの行事で、心配事はいろいろとあった。でも、みんなのサポートがあり、楽しく過ごしたり練習したりできた。みんなは僕のことを受け入れてくれていると安心している。

けれど、まだ不安が心の底にある。また、いじめられるのではないかとという心配が、心の中から消えない。僕はおそろおそろ友達に聞いてみた。

「なぜ、僕を大切にしてくれるの?」と。

すると、「君は友達だから。難聴だったとしても、それ以外は同じだから。」

と言ってくれた。その言葉で、今まで僕に関わってくれた家族や大人たちが、なぜ可愛がってくれたり、怒ってくれたりしたのか、疑問が全て解けた気がした。僕は、自分を健常者とは別の、違う存在のように感じていたが、家族や大人は、同じ子どもとして、対等に見て接してくれていたのだ。心の底から感謝し一人で涙を流した。

僕は今、普通に生活を送っている。家族がいて、友達もいる。だけど、難聴という他の人とは少し違う生活を送っている。不便なところはあがるが、それ以外は何も変わらない。

人はみんな、それぞれ人権を持っている。人権は、この世の中で、人らしく幸せに生きる権利だ。健常者の人たち、難聴者の人たち、他に障がいのある人たち、人権はみんなに平等に与えられている。それなのに、少しの違いを理由に、受け入れなかったり、いじめたりして奪ってはいけない。障がいがあっても同じ人間なのだ。それぞれの個性を受け入れて認め合うことで、みんなが幸せになれる。もし困っている人がいたら、こう言いたい。「みんな同じ人間だ。だから、胸を張って前を向こう。」

僕は、これからも明るく幸せに生きていきたい。

出典:松山地方務局・愛媛県人権擁護委員連合会主催
「第44回全国中学生人権作文コンテスト」
愛媛県大会最優秀賞(松山地方務局長賞(松山地方務局ホームページ))

2026年
3月号
令和8年

公民館だより

よしい

吉井地区1月末人口	前月比
男 1,089人	(-3人)
女 1,136人	(-4人)
計 2,225人	(-7人)
世帯数 1,073戸	(-1戸)

発行 ▶ 西条市吉井公民館
〒799-1363 西条市玉之江235-2
TEL・FAX: (0898) 64-3001 / E-mail : yoshii-k@saijo-city.jp
WEB サイト ▶ <https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/syakaikyoku/yosii-index.html>



◆ 新しい本が入りました ◆

- ぼくらとモリボウのひみつの時間
- あるかしら書店
- ホウ博士とロボットのいる町
- きれてる
- 図書館のぬいぐるみかします
ひとりの大ぼうけん
- 空想街でさがしもの
- おうちで飼える!恐竜・古生物図鑑
- 好きからはじめて世界遺産博士になる!
- 好きからはじめてことば博士になる!
- 好きからはじめて都道府県博士になる!
- 料理はすごい!
- お菓子はすごい!
- かいぜつづろり ニセづろりあらわる!!

NEW 子ども向けの本ですが、大人が読んでもおもしろい内容になっています。



吉井公民館には、移動図書館「カワセミ号」がやってきます。西条市立図書館の利用カードがあれば、どなたでも借りることができます。ぜひご利用ください。巡回日は裏面の行事予定をご覧ください。



★ 吉井地域未来塾頑張りました ★

2/9(月)、令和7年度の吉井地域未来塾が最終日でした。1年間、教員OBの先生方と一緒に宿題や学びたい課題に取り組みました。音読や九九、始まりと終わりの挨拶の元気な声が公民館に響いていました。



令和7年度吉井放課後子ども教室運営委員会

2/5(木)、令和7年度吉井放課後子ども教室運営委員会を行いました。今年度実施したプログラミング教室についての報告や意見交換をしました。来年度も児童が安全に楽しく学べる環境づくりに努めてまいります。



開催
決定

2026 春
玉之江フェスティバル

- 日時 2026年3月8日
12:00~16:00 ※荒天中止
- 会場 吉井公民館・吉井小学校体育館
- プログラム
11:45 玉チケット販売開始
12:00 オープニングアクト
12:20 玉フェス開幕
16:30 玉フェス閉幕

★玉チケとは当日の店舗で使用ができる金券となります。
基本的には現金扱いを行いませんので(一部現金併用店舗あり)
当日、受付にて必要な枚数をご購入ください。
(1枚50円=50玉之円チケット)

遊ぶ!
千本引き・射的
巨大パチンコ・くじ引き
マリオカート
コイン落とし 他

食べる!
ホットケーキ・かき氷
フランクフルト・ポテト
チョコ苺・焼き鳥
ポップコーン 他

他にも!
キングビスケット
かまぼこの山田屋
SOILIKKLE
ざごはんやさん
いちくらカフェ 他

★駐車場について
吉井小学校体育館横、旧吉井農協前に駐車が可能です。
駐輪場もございます。駐車場には限りがありますので、
ご協力の程よろしくお願いたします。

■主催 TAMAFES実行有志の仲間
協賛 賛同して背中を押してくれる皆様

お礼

次の方からご厚志を頂きました。お礼を申し上げます
とともに、故人へのご冥福をお祈りいたします。

- 篠原 恭子様 (故 篠原 勇様ご遺族)
今在家老人クラブ
- 今井 正博様 (故 今井 敬三様ご遺族)
社会福祉協議会吉井支部

申告のお知らせ

市県民税・国民健康保険税の申告の時期に
なりました。公民館ではなく、西部支所で申告を
お願いします。吉井地区の申告受付日時は
下記のとおりです。

- 場所: 西部支所 3階
- 時間: 9:00~11:30 13:00~15:30
- 日程: 3月13日(金) 玉之江・広江
3月16日(月) 今在家・石田

全国大会出場のご報告

このたび、東予東ソフトボールクラブ(吉井スポーツ少年団ソフトボール)は、愛媛県代表として
「第19回春季全日本小学生男子大会」への出場が決定いたしました。
本大会は、令和8年3月20日(金)から22日(日)まで、広島県尾道市にて開催されます。

日頃より、地域の皆さま、保護者の皆さま、関係者の皆さまから
温かいご支援とご声援を賜り、心より感謝申し上げます。
全国の舞台においても、これまで積み重ねてきた練習の成果を
発揮し、愛媛県代表としての誇りを胸に、チーム一丸となって
全力で挑んでまいります。



< 出場選手 >
吉井小学校
5年 山口 涼空 5年 尾崎 好誠

皆さまの温かいご声援をよろしくお願いたします。

吉井スポーツ少年団ソフトボール 代表 山口 悟志

古典講座受講生募集

- 【日時】 令和8年4月から令和9年3月
毎月おおむね第1土曜日(初回は4月4日)
13:30~15:30
- 【場所】 西条市佐伯記念館・郷土資料館
西条市丹原町池田1711-1 (Tel:0898-68-4610)
- 【内容】 「百人一首」
- 【講師】 武田 眞 氏
- 【定員】 60名(先着)
- 【受講料】 開講日にお知らせします。(年3000円程度)
テキスト料(実費:800円程度)お持ちの本で代用できます。
- 【受付期間】 3月13日(金)まで



【提出先】 西条市佐伯記念館・郷土資料館
後援: 西条市教育委員会
【問合せ】 090-4336-3070(黒川)

公民館だよりへの写真掲載について

- 学級(講座・子ども教室)の様子や作品を公民館職員が写真撮影
しますのでご了承ください。また、撮影した写真を公民館だよりやホーム
ページに掲載する場合があります。写真の撮影、掲載を望まない方は、
公民館職員までお申し付けください。
- ホームページ掲載後に、やむを得ない事情で掲載を取りやめたい
場合は、その旨を公民館まで申し出てください。

ご理解ご協力の程、よろしくお願いたします。

～ 3月 行事予定 ～

日	月	火	水	木	金	土
1 休館	2	3	4 びん・スプレー缶	5 百歳体操 13:30~15:00	6	7 休館
8 休館	9	10	11 古紙	12 吉井カフェ 13:30~15:00	13 愛連協 新旧役員引継会	14 休館 カフェセミ号 13:40~14:10
15 休館	16	17	18	19 百歳体操 13:30~15:00	20 春分の日 休館	21 休館
22 休館	23	24	25	26 百歳体操 13:30~15:00	27	28 休館 カフェセミ号 13:40~14:10
29 休館	30	31	<ul style="list-style-type: none"> ●開館日 ➡ 毎週月~金曜日 9:00~17:00 ●休館日 ➡ 毎週土・日曜日, 祝日, 年末年始 			

石田短歌会

早春の庭に黄色や桃色の彩り添える金魚草の花
賑やかに睦月吉の日わが卒寿祝いでくれし私の子孫曾孫よ
豪雪の軒先積もる雪の山我身に代えて東北思う
水仙の花あちこちに咲き次ぎてろう梅咲いてわが庭清し

- 山内美佐子
- 森田 薫
- 徳永吉則
- 相原サツキ